

平成 29 年 3 月 7 日

情報セキュリティ監査実施報告書

この情報セキュリティ監査実施報告書は、平成 28 年度に実施した戸田市情報セキュリティ監査支援業務委託の業務のうち情報セキュリティ内部監査（以下「内部監査」という。）及び情報セキュリティ自己点検（以下「自己点検」という。）の実施結果を報告するものである。

株式会社 JMC リスクソリューションズ（以下「弊社」という。）は、戸田市が平成 28 年 7 月 4 日から平成 28 年 7 月 8 日までの期間において 20 所属を対象に実施した内部監査に立会い、被監査部門及び内部監査員に対し助言を行った。また、弊社は市が実施した自己点検に対し、結果の分析及び改善提言を行った。

それぞれの結果は下記のとおりである。

記

1 内部監査の概要

戸田市では、平成 17 年度から内部監査を開始し今年度で 12 年目を迎える。情報セキュリティ対策の取り組みを全庁的に浸透させるため、3 年で全ての所属を一巡させており、今年度は 4 巡目の最終年に当たる。

平成 28 年度の内部監査は、成熟度レベル評価を活用した情報セキュリティ対策レベルの可視化を継承し、対策レベルと対策優先度レベルを連動させた。その効果として、内部監査被監査部門の現状の対策レベルと市全体の対策レベルが数値で測定可能となる点に併せて、対策優先度レベルを設定したことで情報セキュリティ対策強化の重点ポイントが可視化できる点が挙げられる。

また、従前の課題であった、被監査部門の取り組みがどのレベルまで実施していれば適切であると判断して良いのか、という内部監査員の疑問に対し合格とする対策レベルを明確にした事で、監査員による判断のバラ付きを減らすための改良も加えられた。

2 内部監査の結果

次頁に示す内部監査判定基準に基づく市全体の対策レベル平均は、2.95 であった。

過去 4 年間維持していた合格水準である 3.00 を下回っている。

（参考値：平成 24 年度 3.01、平成 25 年度 3.02、平成 26 年度 3.01、平成 27 年度 3.01）

数値の推移は、例年と比べると大幅に下回った。その要因として、内部監査の判断基準を精査し厳格な判定をしたことによる一時的な数値の減少及び情報セキュリティポリシー改定に伴う対策強化に関して運用が定着していない点が考えられる。一方で、従前どおりの運用が継続されている項目については、周知徹底がされていることから、今後は運用が変化した部分を重点的に具体的な対策例を周知するなど、より精度の高い取り

組みへ改善する余地がある。

「内部監査の判定基準」

評価	成熟度判定	分類基準
適合 「○」	レベル4 (Good Point)	レベル3の状態が継続的に続けられており、積極的な改善活動がなされている。
	レベル3	情報セキュリティポリシー等の基準を満たしており、標準的な対策が実践されている。
不適合 「×」	レベル2	情報セキュリティポリシー等の基準に対し、属人的な対策であるため、改善の余地がある。
	レベル1	情報セキュリティポリシー等の基準に対し、場当たりの対策であるため、改善必要である。
	レベル0	情報セキュリティポリシー等の基準が適用されていない。又は認識されていない。

3 自己点検の総評

内部監査を補填する取り組みとして自己点検を実施した。実施するに当たり、情報セキュリティ自己点検票を作成し、市職員へ配布及び回収した結果を情報セキュリティ対策の見直しへ活用した。

その結果、達成率が低く課題として検出された事項と内部監査で検出された課題とが合致し、比較的精度の高い点検結果となった。なお、市全体の達成率（93.8%）は概ね良好であった。

4 今後の取り組みについて

日本年金機構の情報漏えい事故を発端に、インターネットと内部ネットワークの分離が展開されている状況下で、業務に即した実装ができていないか否かを点検する点において内部監査及び自己点検は、より重要な位置付けとなる。また、サイバー攻撃への備えに関して、その実装状況を評価するための技術的なセキュリティ診断も加味し、中長期的な監査計画の見直しも望まれる。

以上